

News Release

「JA共済アプリ」に、洪水・浸水想定区域を表示する『洪水ハザードマップ』機能を追加
 お住まいの地域の洪水・浸水想定区域を地図上で確認でき、「いざ」というときに役立つ新機能！

J A共済連（全国共済農業協同組合連合会・代表理事理事長 柳井 二三夫）では、近年、多発化・激甚化する自然災害の被害最小化を目指し、誰でも無料で利用できるスマホアプリ「J A共済アプリ」を通じて『防災マップ』機能と『防災アラートメール』機能を提供しています。

これまで、『防災マップ』機能については、地図上で避難先の確認が可能な『避難場所マップ』を提供しておりますが、昨今の記録的な豪雨等による被害状況を踏まえ、9月1日（金）より、新たに洪水・浸水想定区域を確認できる『洪水ハザードマップ』を追加し、より、防災に関する情報の把握に役立つ機能にアップデートいたしました。

今回新たに追加した『洪水ハザードマップ』は、大雨が降った際の洪水リスクを確認できるだけでなく、『避難場所マップ』と組み合わせてご利用いただくことにより、災害発生時の避難ルートを把握することができるなど、「いざ」というときお役立ちいただけるコンテンツです。

<画面イメージ>

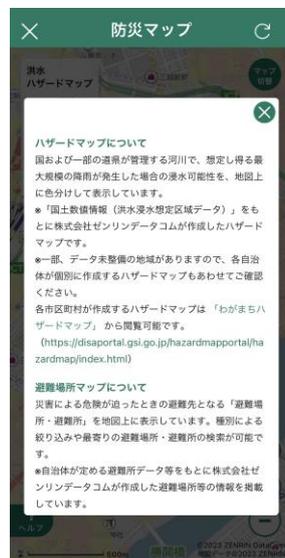
①防災マップ上で切替ボタン選択



②表示コンテンツを選択



③洪水・浸水想定区域を表示（新たに追加）



©2023 ZENRIN 許諾番号 Z23LD第2881号

- ※ 新規追加される機能の利用には、アプリストアから最新版アプリのインストール（またはアップデート）が必要です。
- ※ 画面は今後のバージョンアップで変更となることがあります。

また、昨年度から提供している『防災アラートメール』機能は避難の判断を要する気象警報等（警戒レベル3以上）が発表された際に避難を呼びかけるメールをいち早く受け取れることができ、災害発生時の早期避難に活用いただけます。

これらのコンテンツ以外にも、J A共済アプリにはさまざまな機能がありますので、ぜひJ A共済アプリをご活用ください。

J A共済連では、引き続き、防災・減災に向けた各種の取組みを通じて、「備え」の重要性を呼びかけ、組合員・利用者の皆さまが住み慣れた地域で、豊かで安心して暮らせる地域社会づくりに貢献してまいります。

以 上